

2022年3月期 第2四半期 決算実績 概況資料

2021年11月10日

株式会社西武ホールディングス（9024）
<https://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P3

II. 主な営業状況、取り組み

P7

III. セグメント情報及び営業指標

P15

IV. 決算実績詳細

P25

V. 業績予想、足元の動向

P30

VI. 補足資料

P36

2022年3月期第2四半期 連結決算実績

- 緊急事態宣言の発出、出控えの深刻化などにより、引き続き厳しい事業環境下にあったものの、対前年同期では増収（営業収益は25.8%増の1,949億円）
 - － 西武鉄道運輸収入+12.9%、プリンスホテルRevPAR+119.1%
 - － 収益認識に関する会計基準の適用により営業収益は49億円減少、損益影響は軽微
- 償却前営業利益は235億円の黒字を確保
- 営業損失は35億円、親会社株主に帰属する四半期純損失は127億円となり、前年同期から改善
- 固定費は前々年同期比で200億円減少（特別損失への振替前）
- 特別利益に雇用調整助成金等受入額67億円を計上
- 特別損失に臨時休業等による損失（休業期間中の固定費）53億円、子会社株式売却損35億円を計上

（金額単位：億円）

	2020/3期 2Q累計	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額・率)	2022/3期 2Q累計予想※2	対予想 (増減額)	2022/3期 2Q(7-9月)	対前年同期 (増減額)
営業収益	2,946	1,548	1,949	+ 400 + 25.8%	1,940	+ 9	1,031	+ 145
営業利益	437	△ 306	△ 35	+ 271 -	△ 50	+ 14	24	+ 154
償却前営業利益※1	717	△ 50	235	+ 286 -	220	+ 15	161	+ 153
経常利益	394	△ 346	△ 73	+ 272 -	△ 90	+ 16	4	+ 157
親会社株主に帰属する四半期純利益	281	△ 390	△ 127	+ 262 -	△ 160	+ 32	△ 38	+ 64

※1 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

※2 2021年9月30日公表予想

セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2020/3期 2Q累計	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因	2022/3期 2Q累計予想*	対予想 (増減額)
都市交通・沿線事業	878	586	638	+ 51	+ 8.7%	(+) 鉄道・バスの運輸収入の増加 (+) 「トモニー」来店者数の増加 (+) 西武園ゆうえんち来場客数の増加 (-) 前年8月末としまえん閉園による減収 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響△15億円	639	△ 0
ホテル・レジャー事業	1,220	340	594	+ 253	+ 74.7%	(+) 国内外のホテル、ゴルフ場、横浜・八景島シーパラダイスなどの利用客の増加 (+) オリンピック・パラリンピック開催に伴う需要 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響△7億円	592	+ 2
不動産事業	317	267	318	+ 50	+ 18.9%	(+) 東京ガーデンテラス紀尾井町のテナント一部退去に伴う解約金計上 (+) リゾート等の分譲地販売件数の増加 (+) 保険の代理手数料収入の増加 (+) 商業施設利用者の増加 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響△14億円	318	+ 0
建設事業	501	463	416	△ 46	△ 10.0%	(-) 土木工事、建築工事の減少 (-) 西武建材株式会社の株式譲渡 (+) リノベーション工事の増加 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響△11億円	417	△ 0
その他	290	129	189	+ 59	+ 46.1%	(+) プロ野球公式戦主催試合数、観客動員数の増加 (+) メットライフドームにおける広告協賛の積極的な獲得 (+) 伊豆箱根事業および近江事業におけるバス・タクシー利用の増加 (+) 横浜アリーナ、メットライフドームにおけるイベント開催の増加 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響△8億円	189	+ 0
調整額	△ 261	△ 238	△ 207	+ 30	-	(+) 連結会社間取引消去の減少	△ 215	+ 7
連結数値	2,946	1,548	1,949	+ 400	+ 25.8%		1,940	+ 9

※ 2021年9月30日公表予想

(注) 2021/3期より報告セグメントを変更しております。2020/3期2Q累計の数値は変更後の区分により記載しております。

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	対前年同期		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因	2022/3期	対予想	摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
	2Q累計	2Q累計	2Q累計	(増減額・率)	(増減額)		2Q累計予想*	(増減額)	
都市交通・沿線事業	162	△ 57	△ 23	+ 33	-	(+) 営業収益の増加 (-) 広告宣伝費、一般管理費の増加 (-) 特別損失に計上した固定費(前期)9億円	△ 33	+ 9	(+) 広告宣伝費、人件費などの下振れ
ホテル・レジャー事業	97	△ 302	△ 153	+ 149	-	(+) 営業収益の増加 (-) 特別損失に計上した固定費(前期)106億円 (+) 特別損失に計上した固定費(当期)52億円	△ 156	+ 2	
不動産事業	100	74	125	+ 51	+ 68.1%	(+) 営業収益の増加	123	+ 2	
建設事業	23	18	18	△ 0	△ 0.0%	(-) 建設業の間接工部門費、間接工事原価の増加 (-) 営業収益の減少 (+) 建設業の粗利益率の向上	12	+ 6	(+) 建設業の利益率の上振れ
その他	46	△ 40	△ 4	+ 36	-	(+) 営業収益の増加 (-) 特別損失に計上した固定費(前期)12億円	△ 8	+ 3	
調整額	7	0	1	+ 1	+ 292.9%		12	△ 10	
連結数値	437	△ 306	△ 35	+ 271	-		△ 50	+ 14	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	対前年同期		2022/3期	対予想
	2Q累計	2Q累計	2Q累計	(増減額・率)	(増減額)	2Q累計予想*	(増減額)
都市交通・沿線事業	265	50	85	+ 35	+ 70.6%	75	+ 10
ホテル・レジャー事業	196	△ 228	△ 72	+ 155	-	△ 71	△ 1
不動産事業	159	134	185	+ 51	+ 38.6%	183	+ 2
建設事業	25	20	19	△ 0	△ 3.3%	14	+ 5
その他	64	△ 22	16	+ 38	-	12	+ 4
調整額	6	△ 4	1	+ 5	-	7	△ 5
連結数値	717	△ 50	235	+ 286	-	220	+ 15

※ 2021年9月30日公表予想

(注) 2021/3期より報告セグメントを変更しております。
2020/3期2Q累計の数値は変更後の区分により記載しております。

■ 特別損失に計上した固定費

(金額単位：億円)

	2021/3期	2022/3期	摘要
	2Q累計	2Q累計	
都市交通・沿線事業	9	0	・ 営業休止中の沿線レジャー施設に係る人件費、減価償却費等
ホテル・レジャー事業	106	52	・ 営業休止中のホテルやゴルフ場、レジャー施設に係る人件費、減価償却費等 ※ゴルフ場は2021/3期2Q累計のみ
不動産事業	0	-	
建設事業	-	-	
その他	12	-	【2021/3期 2Q累計】 ・ プロ野球公式戦主催試合数の減少に伴い 参稼報酬の一部を特別損失に計上 ・ 伊豆箱根事業における人件費等
調整額	△ 0	△ 0	
合計	129	53	

I. エグゼクティブ・サマリー P3

II. 主な営業状況、取り組み P7

III. セグメント情報及び営業指標 P15

IV. 決算実績詳細 P25

V. 業績予想、足元の動向 P30

VI. 補足資料 P36

主な営業状況

	2021/3期 上期	2022/3期 上期
都市交通・沿線事業	<p>【沿線生活サービス業・スポーツ業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都、埼玉県に所在する遊園地、温泉施設、フィットネスクラブにおいて営業を休止（5月末～6月中旬にかけて順次営業再開） 駅ナカコンビニ「トモニー」において時短営業を実施（5/19以降、順次通常営業を再開） 	<p>【沿線生活サービス業・スポーツ業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都に所在する温泉施設やフィットネスクラブを休業（4/25～5/31） 5月19日に西武園ゆうえんちをリニューアルオープン、滞留人員を制限し営業
ホテル・レジャー事業	<p>【ホテル業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月下旬よりシティ5ホテルを除き営業休止（6月より需要動向に合わせて、一部営業再開） 需要に応じて、臨時休業・営業集約等を実施 <p>【海外ホテル業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月28日以降、ハワイ3ホテル・3ゴルフ場において営業休止（ゴルフ場は5/4以降、順次営業再開） Staywell 3月末時点で12ホテル、6月末時点で10ホテルにおいて営業休止 <p>【スポーツ業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月18日以降、全28ゴルフ場において順次営業休止（6/1以降、順次営業再開） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜・八景島シーパラダイス、マクセル アクアパーク品川において営業を休止（5/31まで） 	<p>【ホテル業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 需要動向等を踏まえ、5月中旬以降、北海道や京都府、新潟県、群馬県、広島県などに所在する最大7つのホテルで一時営業を休止したほか、営業集約を実施 <p>【海外ホテル業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハワイ 3ホテル、3ゴルフ場は営業継続 Staywell 3月末時点で7ホテル、6月末時点で6ホテルにおいて営業休止（The Prince Akatoki Londonは5/17営業再開） <p>【スポーツ業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全28ゴルフ場において営業継続（冬期休業を除く） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> マクセル アクアパーク品川において営業を休止（4/25～5/31） 台湾・桃園市の水族館「Xpark」において営業を休止（5/17～7/26）
不動産事業	<p>【不動産賃貸業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都、神奈川県、埼玉県、長野県に所在する商業施設において、営業を休止または営業時間を短縮（5/29以降、順次営業を再開） 	<p>【不動産賃貸業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都に所在する一部の商業施設において営業を休止（4/25～5/14）したほか、各商業施設において営業時間を短縮
その他	<p>【西武ライオンズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年シーズンの開幕延期（6/19から無観客試合により公式戦を開催、7月10日から政府や自治体の方針に従い入場者数を制限して試合を開催） 	<p>【西武ライオンズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府や自治体の方針に従い入場者数を制限して試合を開催

中期経営計画における取り組みの進捗状況（経営改革）

2022/3期 上期

2022/3期 3Q以降

■ アセットライトな事業運営

■ 西武建材株式会社の全株式を譲渡 (7月1日)

□ ホテル資産の流動化

- ・ 現在、対象資産、投資家等の選定プロセスが進行中
- ・ 当初、2021年度第3四半期の選定完了・発表を予定していたが、物件数およびその複雑性に鑑み、より慎重にプロセスを進めている

→ **2021年度第4四半期**に選定を完了し発表予定

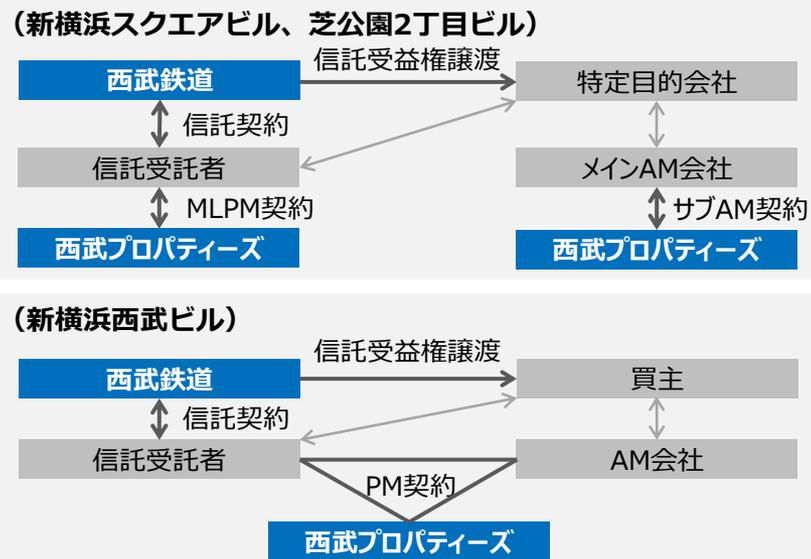
□ グループ内組織再編

- ・ グループの保有資産の価値極大化およびホテル・レジャー事業と不動産事業の競争力向上を目的としたグループ内組織再編を実施（2022年4月予定）

□ 新横浜スクエアビル、芝公園2丁目ビル、新横浜西武ビルの譲渡（流動化）を決定 (11月10日)

- ・ 信託設定に基づく信託受益権を譲渡する予定
- 第3四半期において固定資産売却益（特別利益）約133億円を計上する見込み
- ・ PM業務やサブAM業務等を受託し、不動産事業者としての幅広いマネジメントノウハウの獲得を目指す
- ※ PM: Property Management、AM: Asset Management

<スキーム図（一部）>



中期経営計画における取り組みの進捗状況（経営改革）

2022/3期 上期

2022/3期 3Q以降

■ 損益分岐点の引き下げ

- 上期の固定費は200億円減少
（対2020/3期上期、特別損失への振替前）
 - ✓ ホテル・レジャー事業で143億円減少
（人件費、水道光熱費、販管費等）
 - ✓ 都市交通・沿線事業で28億円減少
（人件費、電気動力費、修繕費等）
- 10両編成で運行している列車の一部を8両編成にて運行することによる電気動力費の削減
- ホテル・レジャー事業において、臨時要員の削減を実施

- 2022/3期通期の固定費は300億円削減の見通し
（対2020/3期、当初目標は220億円）
- グループ各社のバックオフィス業務の共通化、集約を実施
- 西武鉄道における保有車両数の削減による車両保有コストの削減（2022/3期15両削減予定）

■ ニューノーマルに合わせたサービス変革

近場のレジャー需要の取り込み

- 2021年5月19日
心あたたまる幸福感に包まれる、新しい「西武園ゆうえんち」グランドオープン

スポーツ事業の強化

- 日常運動量のデータ計測などを行いながら、手軽にスポーツに触れられるアプリのサービスインに向けプロジェクト進行

グループ内外との連携

- 株式会社アルムと連携し、PCR検査キットの販売や宿泊客へのPCR検査オプションサービスを開始
- プリンズホテルが“新たな旅行スタイルの提案”をテーマに日本航空株式会社と協業を開始

- 2021年10月1日
ハードとソフトの融合によって高い付加価値を創出できる有望な事業領域と判断しアウトドア事業に進出株式会社R.projectと協働し、事業推進を目的とした合併会社「株式会社ステップアウト」を設立

中期経営計画における取り組みの進捗状況（経営改革）

2022/3期 上期

2022/3期 3Q以降

■ニューノーマルに合わせたサービス変革

働き方の多様化に合わせたサービス変革

- 2021年4月27日
軽井沢エリアにおけるワーケーション滞在拠点として軽井沢プリンスホテル ウェストをリニューアルオープン
- 2021年7月29日
野村不動産株式会社、東日本旅客鉄道株式会社との共同プロジェクトとして、軽井沢にワーケーション拠点「Karuziwa Prince The Workation Core」を開業
- 2021年9月16日
東日本旅客鉄道株式会社が展開するシェアオフィス「STATION BOOTH」を西武鉄道の駅ナカ（高田馬場駅・国分寺駅・武蔵境駅）に開業
- 2021年11月下旬
自宅以外のプライベート空間を提供する賃貸ユニットハウス「Emi Cube」の2号物件「エミキューブ桜台」竣工予定
- ワーケーションを通じて企業のSDGs 活動をサポートする「SDGs ワーケーションプログラム」を今秋開始
- シェアオフィス「emiffice」の3号物件準備推進
- 西武線沿線の遊休地を活用した新たな不動産賃貸事業の取り組みとして「多種多様な趣味の世界を満喫することができる住まい」をコンセプトとした賃貸ガレージハウスのプロジェクトを始動（第1号物件（埼玉・入間市）は2022年春入居開始予定）



軽井沢プリンスホテル ウェスト
コワーキングルーム by H+T



エミキューブ桜台イメージ



賃貸ガレージハウス 第1号物件イメージ

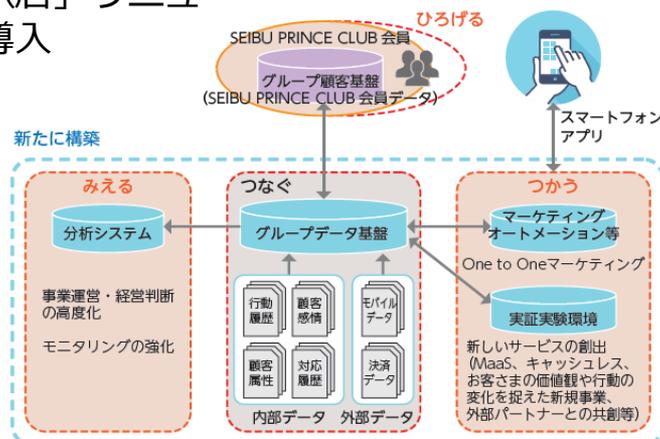
中期経営計画における取り組みの進捗状況（デジタル経営）

2022/3期 上期

2022/3期 3Q以降

■ デジタル経営

- 2021年4月1日
西武ホールディングス、西武鉄道、プリンスホテル、西武プロパティーズの情報システム部門を統合
- グループDX推進体制構築
 - ✓ DXテーマ選定・取組み推進開始
 - ✓ グループ顧客拡大に向けた、グループマーケティングの取組みと連携
- 2021年7月7日
法人向け宴会場オンライン予約サービスを導入
- 2021年8月13日
駅ナカ・コンビニ「トモニー中井駅店」リニューアルにあわせて無人決済システム導入
- グループマーケティング基盤
2022年3月期 初期構築を完了し、複数データを組み合わせた分析・プロモーションなどの利活用を開始
- RPAやAIなど技術活用
 - ✓ 2022年3月期より順次RPA基盤のグループ内利用促進
- 管理系基幹システムのグループ共通化
 - ✓ 2022年4月 会計システム更新予定



グループマーケティング基盤 利活用イメージ



中期経営計画における取り組みの進捗状況（サステナビリティ）

2022/3期 上期

2022/3期 3Q以降

■ サステナビリティ

- 都内8ホテルで実施している「共同配送システムの構築」の取り組みがCO₂排出量の削減につながっていること等が評価され、日本ホテル協会「社会的貢献表彰」優秀賞を受賞

- 2021年5月13日
TCFDの提言に賛同、現在の対応状況を開示
TCFDコンソーシアムにも合わせて参加

- 2021年6月16日
第5回無担保社債（グリーンボンド）発行
✓ 新型省エネ車両の導入に要した借入金の返済資金に充当

- 「SOMPO サステナビリティ・インデックス」（3年連続）、「MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数」（初）に選定

- 2021年7月
西武グループ初となるソーラーシェアリングを開始
太陽光発電システムの下でブルーベリーなどを栽培し、所沢市に電力を供給

- 2021年9月1日
「LOSS TO VALUE」プロジェクトとして、使用されなくなったタバコの自動販売機を利活用し、タバコを模した箱に地域のお茶の粉末スティックが入った「Chabacco」を西武鉄道の駅構内で販売開始

- TCFD提言に沿い、複数のシナリオ分析を年内に実施 → 以後、適宜開示を予定
- 一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社他と協働し、西武秩父駅周辺エリアに点在する古民家3件をレストランやカフェを併設した宿泊施設として再生、秩父市の新たな観光拠点とする事業を推進



秩父エリア古民家改修後イメージ
（左：小池煙草店・宮谷家 右：マル十薬局）

主なプロジェクト

2022年3月期

2023年3月期

2024年3月期以降

都市交通・沿線

- ◆ 2021年5月19日開業
西武園ゆうえんちリニューアル



- ◆ 2023年前半開業予定
ワーナー ブラザース スタジオツアー東京
- メイキング・オブ・ハリー・ポッター
(運営会社：ワーナー ブラザース ジャパン)



新宿線連続立体交差事業の推進

- ◆ 2021年4月27日開業
軽井沢PHウエスト 新客室棟・温泉棟

- ◆ 2022年4月12日開業予定
「沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん」 (沖縄・宜野湾市)



プリンス スマート インの展開

- ◆ 2021年5月31日開業
「プリンス スマート イン 京都四条大宮」

- ◆ 2022年秋頃開業予定「プリンス スマート イン 博多」

- ◆ 2021年4月21日開業
「プリンス スマート イン 熱海」

- ◆ 2022年開業予定
「プリンス スマート イン」 (沖縄・那覇市)
- ◆ 2022年春頃開業予定
「プリンス スマート イン 京都三条」



ホテル・レジャー

StayWell社のグローバル展開

- ◆ 2021年秋以降開業予定
「The Prince Akatoki」 (中国・広州)

- ◆ 2022年3月期冬以降開業予定
「The Prince Akatoki Riverside Bangkok」 (タイ・バンコク)

不動産



- ◆ 2021年7月27日
エミオひばりヶ丘
スケールアップオープン

- ◆ 2022年春 賃貸ガレージハウスプロジェクト
第1号物件 (埼玉・入間市) 入居開始予定

- ◆ 2024年3月期竣工予定
所沢駅西口開発計画

- ◆ 2021年7月29日
エミキューブ桜台竣工予定

- ◆ 軽井沢・プリンスショッピングプラザ内「Karuizawa Prince The Workation Core」開業



高輪・品川エリア、芝公園エリア等の大規模再開発計画の推進

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 主な営業状況、取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P15
IV. 決算実績詳細	P25
V. 業績予想、足元の動向	P30
VI. 補足資料	P36

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

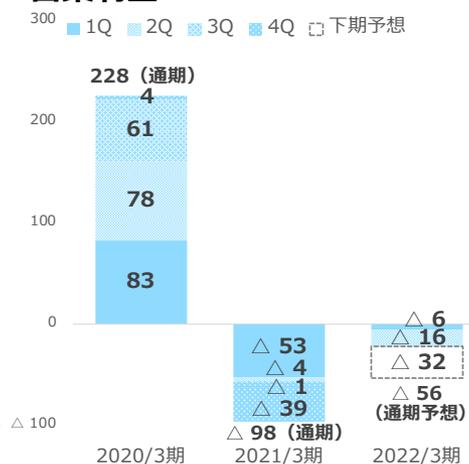
	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	58,683	63,803	+5,119	+8.7%	
鉄道業	36,125	40,512	+4,387	+12.1%	(+) 鉄道運輸収入の増加
バス業	8,721	10,038	+1,316	+15.1%	(+) バス運輸収入の増加
沿線生活サービス業	11,307	10,458	△ 848	△ 7.5%	(+) 「トモニー」来店者数の増加 (+) 西武園ゆうえんち来場客数の増加 (-) 前年8月としまえん閉園による減収 (-) 収益認識会計基準適用による影響 △16億円
スポーツ業	980	1,272	+291	+29.7%	(+) ダイドードリンコアイスアリーナ、BIGBOX高田馬場などの利用増
その他	1,549	1,522	△ 27	△ 1.8%	
営業利益	△ 5,726	△ 2,341	+3,385	-	(+) 営業収益の増加 (-) 広告宣伝費、一般管理費の増加
償却前営業利益	5,037	8,596	+3,558	+70.6%	(-) 特別損失に計上した固定費（前期）9億円

四半期推移 (金額単位：億円)

営業収益



営業利益



西武鉄道 鉄道事業部門の主な費用

(金額単位：百万円)

	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額)
人件費	13,309	△ 213
修繕費	2,826	+ 159
動力費	2,648	△ 247
減価償却費	8,487	+ 84
固定資産除却費	266	+ 77

都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

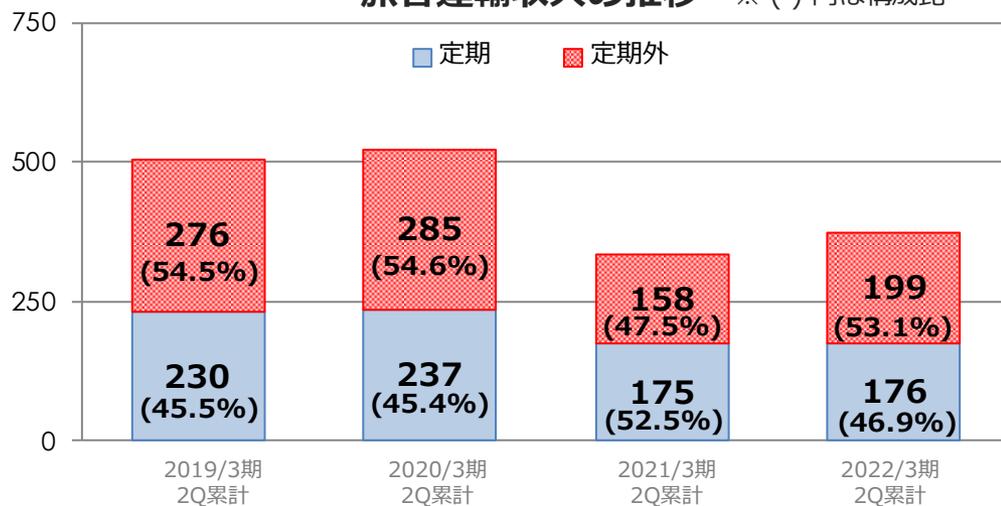
輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	対前年同期 (増減率)	2021/3期 2Q累計	対前年同期 (増減率)	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減率)	
輸送人員	定期	212,759	219,519	+3.2%	151,031	△ 31.2%	156,034	+3.3%
	定期外	124,653	127,987	+2.7%	74,427	△ 41.8%	92,801	+24.7%
	計	337,412	347,506	+3.0%	225,459	△ 35.1%	248,835	+10.4%
旅客運輸 収入	定期	23,091	23,718	+2.7%	17,500	△ 26.2%	17,671	+1.0%
	定期外	27,619	28,502	+3.2%	15,826	△ 44.5%	19,969	+26.2%
	計	50,711	52,220	+3.0%	33,326	△ 36.2%	37,641	+12.9%

（単位：億円）

旅客運輸収入の推移 ※（ ）内は構成比



ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

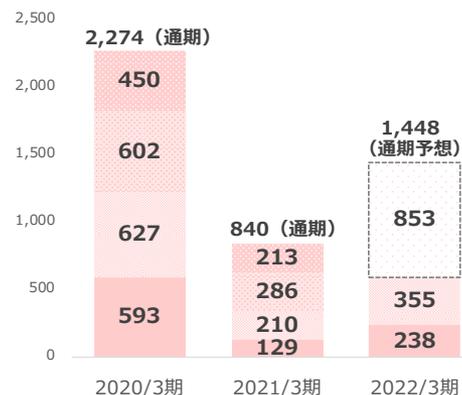
	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	34,021	59,419	+25,398	+74.7%	
ホテル業 (シティ)	11,737	21,178	+9,440	+80.4%	(+) ホテル利用客の増加 (+) オリンピック・パラリンピック開催に伴う需要
ホテル業 (リゾート)	6,389	12,668	+6,278	+98.3%	(-) 収益認識会計基準適用による影響 △3億円
海外ホテル業 [※]	6,311	10,054	+3,743	+59.3%	(+) ホテル利用客の増加
スポーツ業	4,713	7,489	+2,775	+58.9%	(+) ゴルフ場利用客の増加 (-) 収益認識会計基準適用による影響 △2億円
その他	4,869	8,029	+3,160	+64.9%	(+) 横浜・八景島シーパラダイスの利用客の増加 (+) Xpark (台湾・桃園市) の新規開業 (前期3Q) (-) 収益認識会計基準適用による影響 △1億円
営業利益	△ 30,222	△ 15,301	+14,921	-	(+) 営業収益の増加 (-) 特別損失に計上した固定費 (前期) 106億円
償却前営業利益	△ 22,890	△ 7,294	+15,595	-	(+) 特別損失に計上した固定費 (当期) 52億円

※ 海外ホテル業の第2四半期累計期間は主として1月～6月

四半期推移 (金額単位：億円)

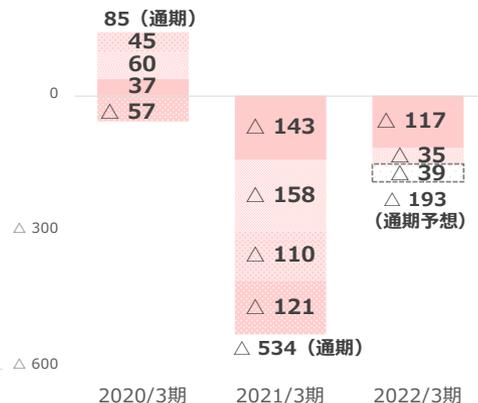
営業収益

3,000 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q □ 下期予想



営業利益

300 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q □ 下期予想



ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

(RevPAR・平均販売室料：円)

		2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	対前年同期	2021/3期 2Q累計	対前年同期	2022/3期 2Q累計	対前年同期
RevPAR	シティ	13,362	14,015	+4.9%	1,649	△ 88.2%	4,116	+149.5%
	高輪・品川エリア	13,652	13,962	+2.3%	1,106	△ 92.1%	3,900	+252.5%
	リゾート	10,958	11,237	+2.5%	3,510	△ 68.8%	6,749	+92.3%
	軽井沢エリア	23,107	23,591	+2.1%	9,701	△ 58.9%	16,112	+66.1%
	宿泊部門全体	12,576	13,104	+4.2%	2,253	△ 82.8%	4,937	+119.1%
平均販売室料	シティ	15,590	15,948	+2.3%	15,030	△ 5.8%	16,996	+13.1%
	高輪・品川エリア	15,094	15,505	+2.7%	14,138	△ 8.8%	19,134	+35.3%
	リゾート	17,328	17,249	△ 0.5%	21,946	+27.2%	21,565	△ 1.7%
	軽井沢エリア	32,021	31,721	△ 0.9%	38,387	+21.0%	33,588	△ 12.5%
	宿泊部門全体	16,049	16,293	+1.5%	17,879	+9.7%	18,683	+4.5%
客室稼働率	シティ	85.7%	87.9%	+2.2pt	11.0%	△ 76.9pt	24.2%	+13.2pt
	高輪・品川エリア	90.4%	90.0%	△ 0.4pt	7.8%	△ 82.2pt	20.4%	+12.6pt
	リゾート	63.2%	65.1%	+1.9pt	16.0%	△ 49.1pt	31.3%	+15.3pt
	軽井沢エリア	72.2%	74.4%	+2.2pt	25.3%	△ 49.1pt	48.0%	+22.7pt
	宿泊部門全体	78.4%	80.4%	+2.1pt	12.6%	△ 67.8pt	26.4%	+13.8pt

(注) 各区分に含まれるホテル名称を36ページに記載しております。

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

海外ホテル業の営業指標 ※ 2Q累計は1月～6月の実績

■ ハワイ

	2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	対前年同期	2021/3期 2Q累計	対前年同期	2022/3期 2Q累計	対前年同期
RevPAR (円)	26,081	30,862	+ 18.3%	13,888	△ 55.0%	24,581	+ 77.0%
RevPAR (米ドル)	226.79	268.36	+ 18.3%	131.02	△ 51.2%	227.60	+ 73.7%
平均販売室料 (円)	36,546	38,862	+ 6.3%	37,726	△ 2.9%	37,562	△ 0.4%
平均販売室料 (米ドル)	317.79	337.93	+ 6.3%	355.91	+ 5.3%	347.80	△ 2.3%
客室稼働率	71.4%	79.4%	+ 8.0pt	36.8%	△ 42.6pt	65.4%	+ 28.6pt

■ The Prince Akatoki London

	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期
RevPAR (円)	8,973	1,569	△ 82.5%
RevPAR (英ポンド)	66.47	10.77	△ 83.8%
平均販売室料 (円)	29,910	37,032	+ 23.8%
平均販売室料 (英ポンド)	221.59	254.10	+ 14.7%
客室稼働率	30.0%	4.2%	△ 25.8pt

ホテル・レジャー事業 インバウンドの状況（宿泊客数・室料収入）

（人員単位：人、金額単位：百万円）

		2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	対前年同期 (増減率)	2021/3期 2Q累計	対前年同期 (増減率)	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減率)
宿泊客数	邦人客	1,907,013	1,950,786	+ 2.3%	537,418	△ 72.5%	860,445	+ 60.1%
	外国人客	672,492	657,194	△ 2.3%	1,709	△ 99.7%	21,183	+ 1,139.5%
	計	2,579,505	2,607,980	+ 1.1%	539,127	△ 79.3%	881,628	+ 63.5%
	外国人客比率	26.1%	25.2%	△ 0.9pt	0.3%	△ 24.9pt	2.4%	+ 2.1pt
室料収入	外国人客	12,672	13,272	+ 4.7%	93	△ 99.3%	3,141	+ 3,246.5%
	外国人客比率	35.2%	35.5%	+ 0.4pt	1.4%	△ 34.1pt	22.6%	+ 21.1pt

外国人宿泊客数および室料収入の構成比

		外国人宿泊客数		外国人客 室料収入	
		2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計
構成比	中国	10.7%	4.6%	6.6%	5.6%
	台湾	2.0%	0.1%	0.8%	0.1%
	韓国	3.3%	0.3%	1.0%	0.5%
	香港	0.3%	0.1%	0.9%	0.5%
	タイ	1.8%	0.2%	0.8%	0.3%
	その他アジア	9.0%	0.9%	7.9%	1.8%
	北米・欧州	31.9%	34.5%	42.0%	48.2%
	その他	41.0%	59.3%	40.1%	42.9%

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

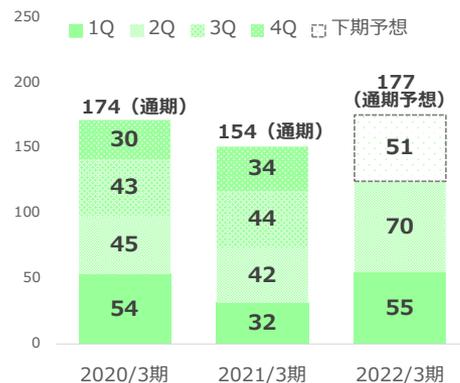
	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	26,794	31,858	+5,064	+18.9%	
不動産賃貸業	22,600	25,041	+2,441	+10.8%	(+) 東京ガーデンテラス紀尾井町のテナント一部退去に伴う解約金計上 (+) 商業施設利用者の増加 (-) 収益認識会計基準適用による影響 △14億円
その他	4,194	6,817	+2,622	+62.5%	(+) リゾート等の分譲地販売件数の増加 (+) 保険の代理手数料収入の増加
営業利益	7,492	12,595	+5,102	+68.1%	
償却前営業利益	13,417	18,594	+5,176	+38.6%	(+) 営業収益の増加

四半期推移 (金額単位：億円)

営業収益



営業利益



建物賃貸物件の期末貸付面積

(面積：千㎡)

	2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減面積)
商業施設	243	245	248	248	+ 0
オフィス・住宅	173	202	205	188	△ 17

(注) 土地の賃貸は含んでおりません。

建物賃貸物件の期末空室率

	2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期
商業施設	1.2%	1.3%	2.2%	2.2%	△ 0.0pt
オフィス・住宅	0.9%	3.4%	3.3%	11.4%*	+ 8.1pt

※ オフィステナントの一部退去による上昇
 → テナントの入居が一部進み、現時点における2022/3期末のオフィス・住宅の空室率の見直しは、期初予想時点よりも改善して約9%となる見込み
 ・引き続き早期のテナント入居に向けてリーシングを進める

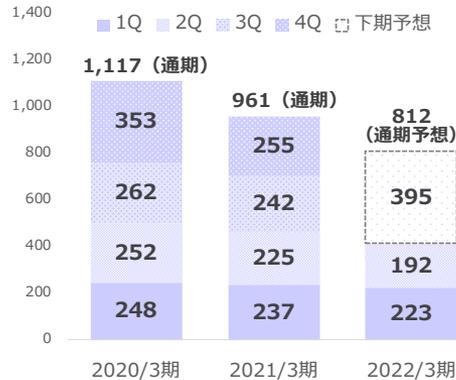
建設事業 概況

(金額単位：百万円)

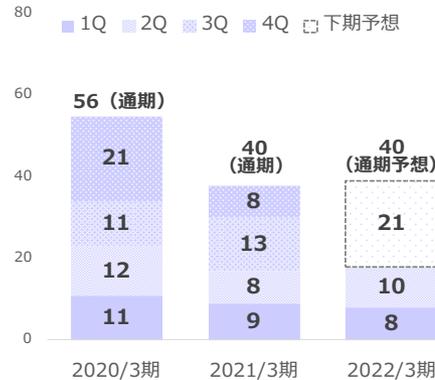
	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	46,314	41,687	△ 4,626	△ 10.0%	
建設業	33,779	32,283	△ 1,495	△ 4.4%	(-) 土木工事、建築工事の減少 (+) リノベーション工事の増加 (+) 収益認識会計基準適用による影響 +6億円
その他	12,535	9,404	△ 3,130	△ 25.0%	(-) 西武建材株式会社の株式譲渡 (-) 収益認識会計基準適用による影響 △17億円
営業利益	1,809	1,809	△ 0	△ 0.0%	(-) 建設業の間接工事部門費、間接工事原価の増加 (-) 営業収益の減少
償却前営業利益	2,044	1,976	△ 68	△ 3.3%	(+) 建設業の粗利益率の向上

四半期推移 (金額単位：億円)

営業収益



営業利益



建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額)
期首繰越高	100,542	88,975	77,871	68,454	△ 9,416
期中受注高	34,642	34,071	26,768	25,767	△ 1,001
期末繰越高	100,045	87,807	71,022	61,720	△ 9,301

その他 概況、スポーツ関連

■その他

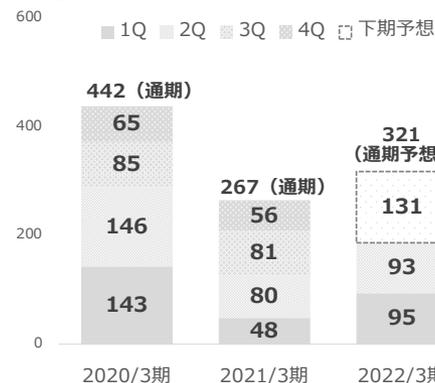
(金額単位：百万円)

	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	12,952	18,923	+5,970	+46.1%	(+) プロ野球公式戦主催試合数、観客動員数の増加 (+) メットライフドームにおける広告協賛の積極的な獲得 (+) 伊豆箱根事業および近江事業におけるバス・タクシー利用の増加 (+) 横浜アリーナ、メットライフドームにおけるイベント開催の増加 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響△8億円
営業利益	△ 4,092	△ 485	+3,606	-	(+) 営業収益の増加
償却前営業利益	△ 2,212	1,606	+3,818	-	(-) 特別損失に計上した固定費(前期)12億円

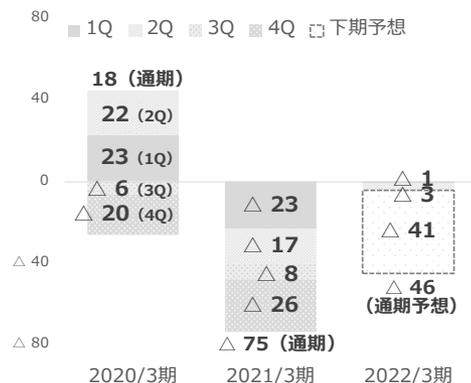
四半期推移

(金額単位：億円)

営業収益



営業利益



■スポーツ関連の営業収益※

(金額単位：百万円)

	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	11,706	19,591	+7,884	+67.4%	都市交通・沿線事業(スポーツ業) 前年同期比+2億円 ホテル・レジャー事業(スポーツ業) 前年同期比+27億円 その他(スポーツ業) 前年同期比+48億円

※ 都市交通・沿線事業およびホテル・レジャー事業におけるスポーツ業、ならびにその他に含まれるスポーツ事業の営業収益の合計

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 主な営業状況、取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P15
IV. 決算実績詳細	P25
V. 業績予想、足元の動向	P30
VI. 補足資料	P36

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額)	摘要
営業収益	154,899	194,908	+40,008	都市交通・沿線：+51億円、ホテル・レジャー：+253億円、 不動産：+50億円、建設：△46億円、その他：+59億円、 調整額：+30億円
営業利益	△ 30,690	△ 3,533	+27,157	都市交通・沿線：+33億円、ホテル・レジャー：+149億円、 不動産：+51億円、建設：△0億円、その他：+36億円、 調整額：+1億円
営業外収益	1,528	1,807	+278	
営業外費用	5,472	5,639	+167	
経常利益	△ 34,634	△ 7,365	+27,268	
特別利益	11,271	7,318	△ 3,953	当期：雇用調整助成金等受入額 67億円 前期：雇用調整助成金等受入額 68億円、固定資産売却益 26億円
特別損失	18,724	10,883	△ 7,840	当期：臨時休業等による損失 53億円、子会社株式売却損 35億円 前期：臨時休業等による損失 129億円、減損損失 25億円
税金等調整前四半期純利益	△ 42,087	△ 10,931	+31,156	
法人税等	△ 2,357	849	+3,207	法人税、住民税及び事業税 +17億円、法人税等調整額 +14億円
四半期純利益	△ 39,729	△ 11,780	+27,948	
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 696	970	+1,666	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 39,033	△ 12,751	+26,282	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額)	摘要
営業利益	△ 30,690	△ 3,533	+ 27,157	
営業外収益	1,528	1,807	+ 278	
受取利息・配当金	498	472	△ 25	
バス路線運行維持費補助金	247	246	△ 0	
持分法による投資利益	—	3	+ 3	
感染拡大防止協力金受入額	—	498	+ 498	
その他営業外収益	782	585	△ 197	
営業外費用	5,472	5,639	+ 167	
支払利息	5,137	4,650	△ 487	
持分法による投資損失	67	—	△ 67	
その他営業外費用	267	989	+ 722	
経常利益	△ 34,634	△ 7,365	+ 27,268	
特別利益	11,271	7,318	△ 3,953	
固定資産売却益	2,618	87	△ 2,530	前期：旧安比奈車両基地用地の売却など
工事負担金等受入額	1,349	67	△ 1,281	
補助金収入	46	11	△ 34	
雇用調整助成金等受入額	6,818	6,737	△ 80	
その他特別利益	439	413	△ 25	
特別損失	18,724	10,883	△ 7,840	
減損損失	2,599	519	△ 2,079	前期：主にとしまえん閉園決定に伴う減損損失
固定資産売却損	373	0	△ 372	
固定資産除却損	756	915	+ 158	
工事負担金等圧縮額	1,189	64	△ 1,124	
固定資産圧縮損	34	7	△ 26	
子会社株式売却損	—	3,574	+ 3,574	当期：西武建材株式会社の株式譲渡
投資有価証券評価損	77	18	△ 58	
臨時休業等による損失	12,962	5,310	△ 7,651	5ページの「特別損失に計上した固定費」を参照
その他特別損失	731	471	△ 260	
税金等調整前当期純利益	△ 42,087	△ 10,931	+ 31,156	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2021/3期 期末	2022/3期 2Q末	対前期 (増減額)	摘要
資産 合計	1,698,497	1,669,808	△ 28,688	
流動資産	124,086	102,751	△ 21,334	受取手形及び売掛金※ △58,193 現金及び預金 △1,280 その他 △10,526 (未収還付消費税の減少など)
固定資産	1,574,410	1,567,057	△ 7,353	受取手形、売掛金及び契約資産※ +50,361 有形・無形固定資産 △10,808 投資有価証券 +2,023 繰延税金資産 +1,228
負債 合計	1,312,809	1,292,376	△ 20,433	
流動負債	378,883	382,013	+3,130	短期借入金 +20,682 前受金 +11,482 支払手形及び買掛金 △4,757 その他 △24,143 (工事未払金の減少など)
固定負債	933,926	910,362	△ 23,563	長期借入金 △28,578 鉄道・運輸機構長期未払金 △1,869 社債 +10,000
純資産 合計	385,687	377,432	△ 8,255	
自己資本	299,742	291,274	△ 8,467	利益剰余金 △13,685 (親会社株主に帰属する四半期純損失 △12,751、収益認識に関する会計基準の適用による累積的影響額 △925) 退職給付に係る調整累計額 △1,160 為替換算調整勘定 +4,465 その他有価証券評価差額金 +1,358
非支配株主持分	85,538	85,858	+320	
有利子負債 期末残高	937,156	937,603	+446	
ネット有利子負債	908,340	910,067	+1,726	
自己資本比率	17.6%	17.4%	△ 0.2pt	
D/Eレシオ (倍)	3.1	3.2	+0.1	

※ 収益認識に関する会計基準を適用したため、前期の連結貸借対照表において「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当期（第1四半期）より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円)

	2021/3期 2Q累計	2022/3期 2Q累計	対前年同期 (増減額)	摘要
営業キャッシュ・フロー	△ 18,949	30,073	+49,022	
減価償却費	28,557	28,152	△ 404	特別損失「臨時休業等による損失」に計上した減価償却費を含む (当期：1,257 前期：3,180)
投資キャッシュ・フロー	△ 39,564	△ 30,513	+9,051	
うち有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 53,423	△ 42,228	+11,194	
うち有形及び無形固定資産の売却による収入	2,740	90	△ 2,649	
うち工事負担金等受入による収入	11,621	11,378	△ 243	
財務キャッシュ・フロー	56,122	△ 1,203	△ 57,325	
現金及び現金同等物の期首残高	28,056	28,538	+482	
現金及び現金同等物の期末残高	25,610	27,238	+1,628	
フリー・キャッシュ・フロー [※]	△ 58,514	△ 439	+58,074	

※ フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 主な営業状況、取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P15
IV. 決算実績詳細	P25
V. 業績予想、足元の動向	P30
VI. 補足資料	P36

2022年3月期通期 連結業績予想（修正）

- 緊急事態宣言の長期化、出控えの深刻化により、上期の事業環境は想定よりも悪化
- ワクチン接種の進展、行動制限の段階的な緩和による需要の回復を見込むものの、回復時期が当初想定よりも遅れていることを踏まえ、通期予想を修正

(金額単位：億円)

	2022/3期 前回予想*	2022/3期 今回予想	対前回予想 (増減額)	2021/3期	対前期 (増減額・率)		2020/3期
営業収益	4,560	4,070	△ 490	3,370	+ 699	+ 20.7%	5,545
営業利益	90	△ 80	△ 170	△ 515	+ 435	—	568
償却前営業利益	670	470	△ 200	18	+ 451	—	1,145
経常利益	0	△ 160	△ 160	△ 587	+ 427	—	487
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 50	△ 140	△ 90	△ 723	+ 583	—	46

※ 2021年5月13日公表予想

■ 固定費削減

当初の削減目標220億円から深掘りし、300億円削減する見通し（2020年3月期比）

■ 特別利益

新横浜スクエアビル、芝公園2丁目ビル、新横浜西武ビルの流動化に伴う固定資産売却益が当初計画を上回る見通し（第3四半期において約133億円を計上する見通し）

ホテル資産の流動化については予想に織り込んでいない

セグメント別業績予想（営業収益）

■ 営業収益

（金額単位：億円）

	2022/3期	2022/3期	対前回予想	摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因	2021/3期	対前期	2020/3期
	前回予想	今回予想	(増減額)		(増減額・率)		
都市交通・沿線事業	1,428	1,336	△ 92	(-) 2Q累計△63億円 (-) 鉄道・バスの運輸収入の回復の遅れ（定期収入は需要の低迷が下期も続く想定）	1,225	+ 110 + 9.0%	1,685
ホテル・レジャー事業	1,769	1,448	△ 321	(-) 2Q累計△185億円 (-) ホテル業を中心に需要の回復の遅れ	840	+ 607 + 72.3%	2,274
不動産事業	558	578	+ 20	(+) 2Q累計+13億円 (+) 下期の土地販売、東京ガーデンテラス紀尾井町におけるオフィステナント入居	553	+ 24 + 4.3%	604
建設事業	890	812	△ 78	(-) 2Q累計△4億円 (-) 民間住宅工事などの収益貢献の後ろ倒し (-) 下期におけるリノベーション工事の受注の減少	961	△ 149 △ 15.5%	1,117
その他	334	321	△ 13	(-) 2Q累計△12億円	267	+ 53 + 20.0%	442
調整額	△ 419	△ 425	△ 6		△ 478	+ 53 -	△ 578
連結数値	4,560	4,070	△ 490		3,370	+ 699 + 20.7%	5,545

■ 鉄道業（輸送人員・旅客運輸収入）

		2022/3期	2022/3期	対前回予想	2021/3期	対前期	
		前回予想	今回予想	(増減額)		(増減額・率)	
輸送人員 (千人)	定期	349,878	312,073	△ 37,805	303,513	+8,560	+2.8%
	定期外	213,325	200,157	△ 13,168	168,709	+31,448	+18.6%
	計	563,204	512,230	△ 50,974	472,222	+40,008	+8.5%
旅客運輸収入 (百万円)	定期	38,454	34,905	△ 3,549	34,755	+ 149	+0.4%
	定期外	46,231	43,376	△ 2,855	36,107	+7,269	+20.1%
	計	84,686	78,281	△ 6,404	70,863	+7,418	+10.5%

<下期の想定>（2020年3月期比）

定期収入：

（前回予想）△10%程度
→（今回予想）△22%程度

定期外収入：

（前回予想）△9%程度
→（今回予想）△7%程度

■ ホテル業の営業指標

		2022/3期	2022/3期	対前回予想	2021/3期
		前回予想	今回予想		
宿泊部門全体	RevPAR	9,917	7,147	△ 27.9%	3,029
	平均販売室料	17,246	17,174	△ 0.4%	16,699
	客室稼働率	57.5%	41.6%	△ 15.9pt	18.1%

<下期の想定>

客室稼働率：

（前回予想）60-70%程度で推移
→（今回予想）3Qは30-50%程度、
4Qは60-70%程度で推移

（注）前回予想は2021年5月13日公表予想

セグメント別業績予想（営業利益・償却前営業利益）

■ 営業利益

（金額単位：億円）

	2022/3期 前回予想	2022/3期 今回予想	対前回予想 (増減額)	摘要 (+) 増加要因、 (-) 減少要因	対前期			2020/3期
					2021/3期	(増減額・率)		
都市交通・沿線事業	0	△ 56	△ 56	(-) 2Q累計△37億円 (-) 下期営業収益の減少 (+) 下期における固定費の減少	△ 98	+ 42	-	228
ホテル・レジャー事業	△ 40	△ 193	△ 153	(-) 2Q累計△62億円 (-) 下期営業収益の減少 (+) 下期における人件費の減少	△ 534	+ 341	-	85
不動産事業	159	177	+ 18	(+) 2Q累計+16億円 (+) 下期営業収益の増加	154	+ 22	+ 14.8%	174
建設事業	33	40	+ 7	(+) 2Q累計+7億円 (+) 建設業における利益率の向上 (-) 下期営業収益の減少	40	△ 0	△ 1.4%	56
その他	△ 47	△ 46	+ 1	(+) 2Q累計+2億円	△ 75	+ 29	-	18
調整額	△ 15	△ 2	+ 13	(+) 2Q累計+7億円	△ 2	+ 0	-	5
連結数値	90	△ 80	△ 170		△ 515	+ 435	-	568

■ 償却前営業利益

（金額単位：億円）

	2022/3期 前回予想	2022/3期 今回予想	対前回予想 (増減額)	摘要 (+) 増加要因、 (-) 減少要因	対前期			2020/3期
					2021/3期	(増減額・率)		
都市交通・沿線事業	231	172	△ 59		123	+ 48	+ 38.8%	446
ホテル・レジャー事業	141	△ 23	△ 164		△ 381	+ 358	-	286
不動産事業	277	296	+ 19		274	+ 21	+ 7.9%	291
建設事業	37	43	+ 6		45	△ 2	△ 5.6%	60
その他	△ 5	△ 4	+ 1		△ 34	+ 30	-	56
調整額	△ 11	△ 14	△ 3		△ 8	△ 5	-	3
連結数値	670	470	△ 200		18	+ 451	-	1,145

(注) 前回予想は2021年5月13日公表予想

鉄道業およびホテル業の足元の動向

■ 鉄道業

改札通過人員（前年同月比）

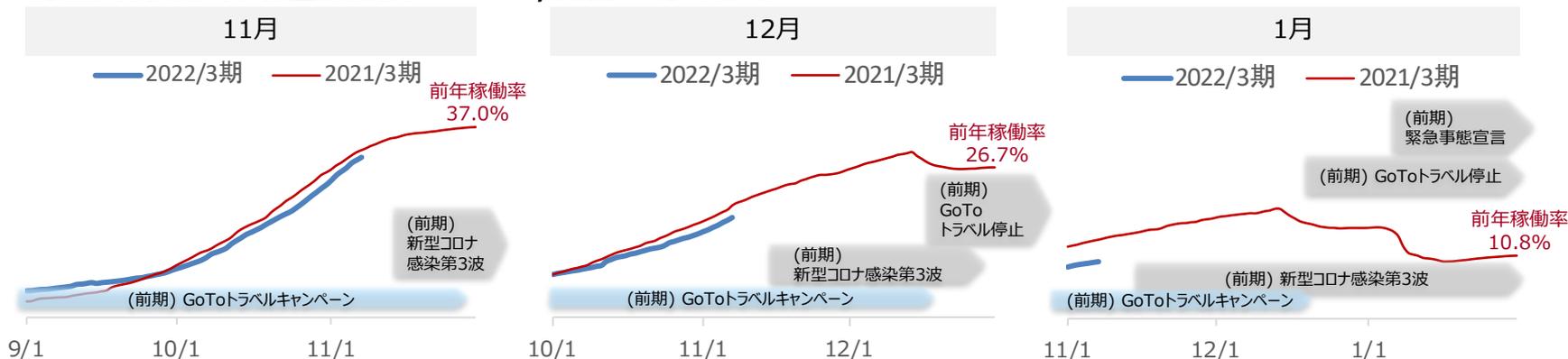
	2021年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
定期	+66.7%	+78.4%	+16.1%	△ 0.0%	△ 8.9%	△ 8.7%	△ 2%
(前々年比)	(△ 21.7%)	(△ 36.4%)	(△ 29.2%)	(△ 30.1%)	(△ 31.3%)	(△ 33.3%)	(△ 24%)
定期外	+129.4%	+71.5%	+11.9%	+13.9%	△ 1.9%	△ 5.2%	+1%
(前々年比)	(△ 23.3%)	(△ 31.3%)	(△ 22.8%)	(△ 23.6%)	(△ 30.8%)	(△ 25.7%)	(△ 12%)
計	+91.2%	+75.2%	+14.2%	+6.1%	△ 5.6%	△ 7.0%	△ 0%
(前々年比)	(△ 22.5%)	(△ 34.1%)	(△ 26.5%)	(△ 27.2%)	(△ 31.1%)	(△ 29.9%)	(△ 19%)

■ ホテル業

営業指標（前年同月比）

	2021年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
RevPAR	+274.7%	+668.2%	+186.1%	+320.5%	+68.3%	△ 18.3%	△ 19%
(前々年比)	(△ 80.1%)	(△ 78.2%)	(△ 77.3%)	(△ 27.6%)	(△ 46.6%)	(△ 73.0%)	(△ 69%)
平均販売室料	△ 2.7%	△ 24.7%	△ 25.8%	+46.1%	+12.9%	△ 13.5%	△ 21%
(前々年比)	(△ 28.3%)	(△ 5.3%)	(△ 16.3%)	(+54.5%)	(+32.1%)	(△ 9.2%)	(△ 26%)
稼働率	+ 16.2pt	+ 16.4pt	+ 15.8pt	+ 24.6pt	+ 11.2pt	△ 1.4pt	+ 1pt
(前々年比)	(△ 56.8pt)	(△ 60.7pt)	(△ 57.4pt)	(△ 42.9pt)	(△ 50.2pt)	(△ 57.0pt)	(△ 46pt)
(当期実績値)	(21.8%)	(18.2%)	(21.4%)	(37.8%)	(34.1%)	(24.1%)	(33%)

宿泊予約状況（予約室数推移）※ 2022/3期は11月7日まで



■ 利益維持条項の設定状況（2021年9月末時点）

対象契約：シンジケートローン契約9件

借入残高：計1,191億円

設定内容：各年度の決算期末の連結損益計算書において、営業損益が2期連続して損失とならないようにすること

■ 抵触の有無

利益維持条項の判定時期は年度末であり、現状では抵触しておりません。

■ 今後の対応

- 利益維持条項が設定された全ての契約において、相対取引行を始めとする当社と緊密な関係にある金融機関のみで多数貸付人（借入残高の67%以上）を構成しております。
- 今後、利益維持条項に抵触することが確実であると判断するに至った際は、期限の利益喪失請求を行わないことを貸付人の皆さまにご依頼させて頂き、手続きがより速やかに実行されるよう、引き続き、貸付人およびエージェントと緊密に情報を共有してまいります。

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 主な営業状況、取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P15
IV. 決算実績詳細	P25
V. 業績予想、足元の動向	P30
VI. 補足資料	P36

ホテル・レジャー事業 施設概要

■ホテル業

	ホテル数 (か所)		客室数 (室)	
	2020/9末	2021/9末	2020/9末	2021/9末
シティ	15	15	10,619	10,618
高輪・品川エリア	4	4	5,138	5,138
リゾート	31	31	6,739	6,739
軽井沢エリア	3	3	687	687

(注) ホテル業に含むホテルは以下の通りです。

シティ (高輪・品川エリアに含むホテルを下線で表示) :

ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町、ザ・プリンス パークタワー東京、東京プリンスホテル、ザ・プリンス さくらタワー東京、グランドプリンスホテル高輪、グランドプリンスホテル新高輪、品川プリンスホテル、新宿プリンスホテル、サンシャインシティプリンスホテル、川越プリンスホテル、新横浜プリンスホテル、名古屋プリンスホテル スカイタワー、びわ湖大津プリンスホテル、ザ・プリンス 京都宝ヶ池、グランドプリンスホテル広島

リゾート (軽井沢エリアに含むホテルを下線で表示) :

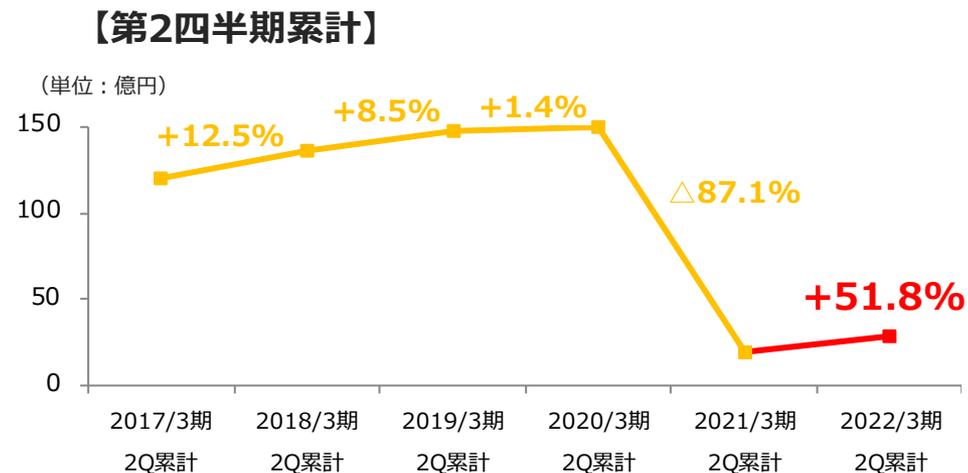
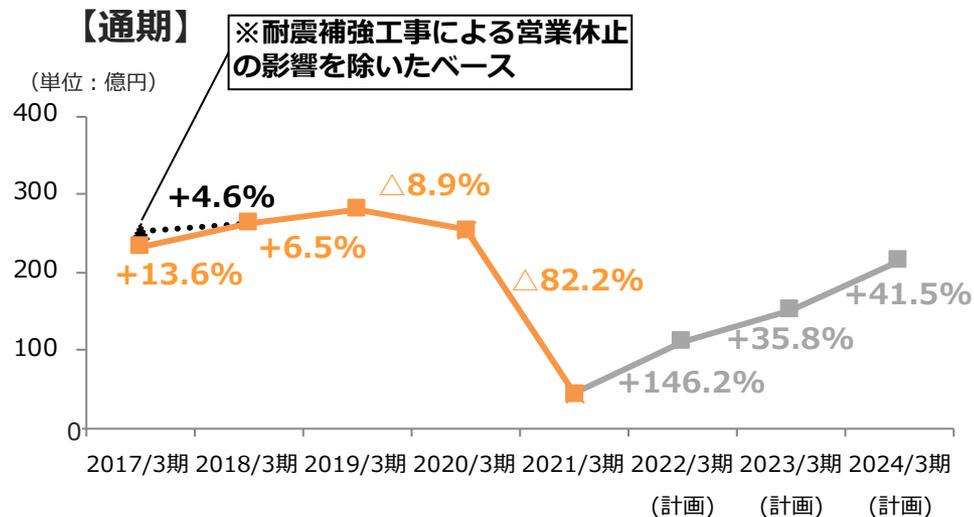
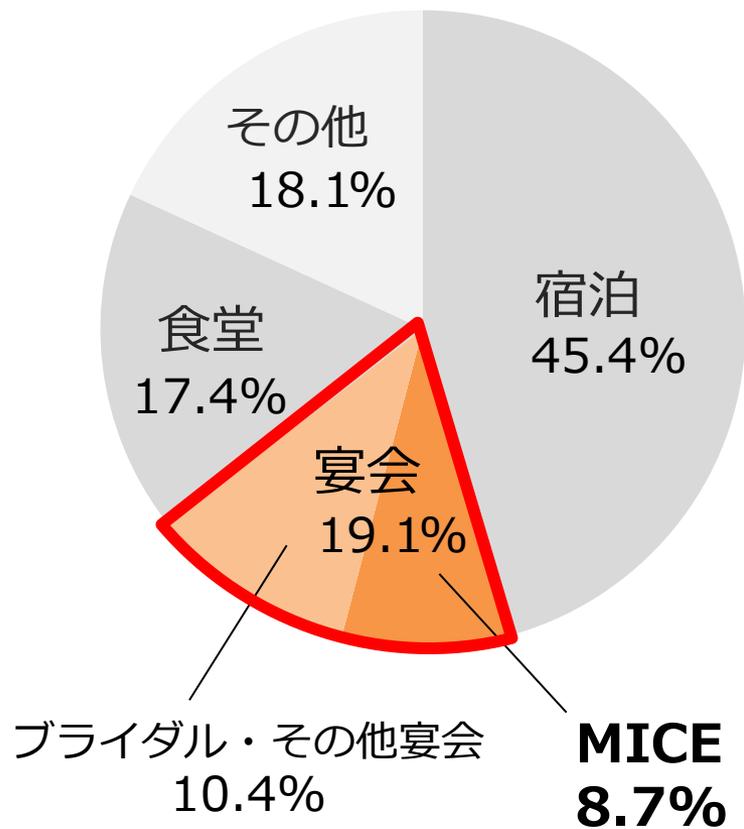
札幌プリンスホテル、屈斜路プリンスホテル、釧路プリンスホテル、富良野プリンスホテル、新富良野プリンスホテル、函館大沼プリンスホテル、十和田プリンスホテル、雫石プリンスホテル、苗場プリンスホテル、ザ・プリンスヴィラ軽井沢、ザ・プリンス 軽井沢、軽井沢プリンスホテル、軽井沢 浅間プリンスホテル、プリンス パケーション クラブ 軽井沢浅間、プリンス パケーション クラブ ヴィラ軽井沢浅間、婦恋プリンスホテル、万座プリンスホテル、万座高原ホテル、志賀高原プリンスホテル、鎌倉プリンスホテル、大磯プリンスホテル、ザ・プリンス箱根芦ノ湖、龍宮殿、箱根湯の花プリンスホテル、箱根仙石原プリンスホテル、箱根園コテージ、下田プリンスホテル、三養荘、プリンス パケーション クラブ 三養荘、川奈ホテル、日南海岸 南郷プリンスホテル

■海外ホテル業

	ホテル数 (か所)				客室数 (室)			
	2020/6末		2021/6末		2020/6末		2021/6末	
	(うち直営 ・リース)		(うち直営 ・リース)		(うち直営 ・リース)		(うち直営 ・リース)	
海外ホテル業	34	(6)	35	(6)	5,452	(1,611)	5,672	(1,610)
ハワイ	3	(3)	3	(3)	1,064	(1,064)	1,064	(1,064)
The Prince Akatoki	1	(1)	1	(1)	82	(82)	82	(82)

ホテル業 MICEの状況

■ ホテル業の売上高構成比 (2022年3月期 2Q累計) ■ MICE売上高の推移



ディスクレーマー

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び不確実な要因に係る仮定を前提として作成しており、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。